

第3回 いわき市医療構想会議

令和6年2月6日（火）

いわき市 保健福祉部

地域医療課

1

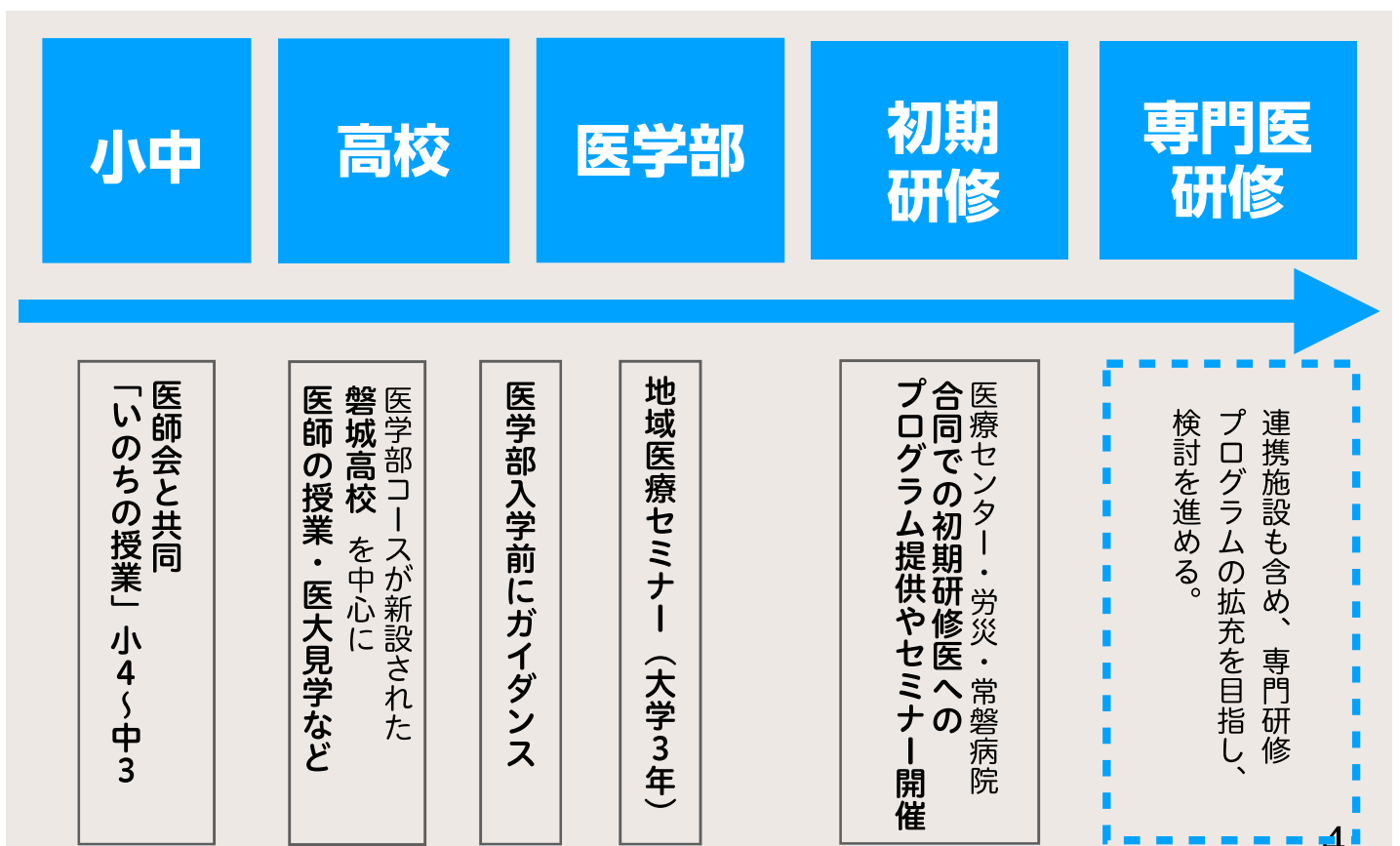
1. 医療人を**育む**

1 医療人を育て - (1) “育て”の取り組みの方向性



3

1 医療人を育て - (3) 切れ目ない“育て”の取り組み



4

小中学生

＼医師や専門職が小中学校へおでかけ／
いのちの授業



R4 5回・228名

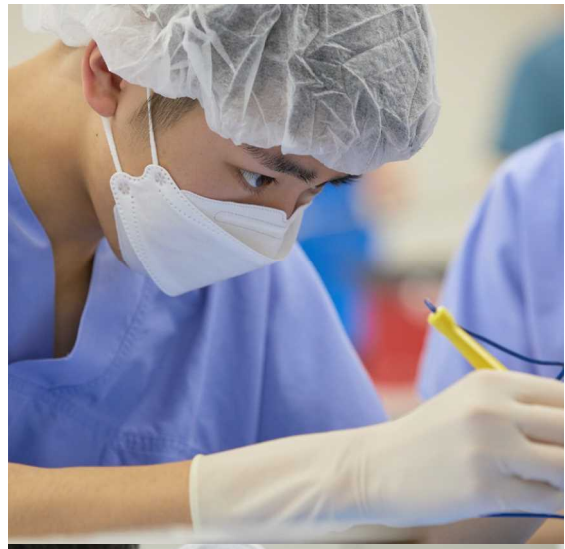
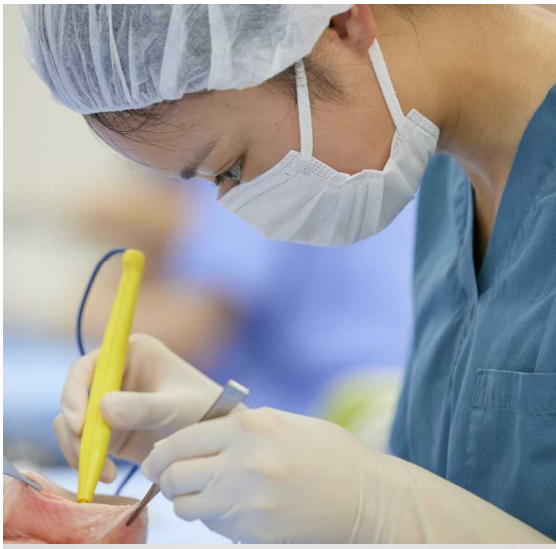
R5 13回・436名



高校生

縫合体験&病院見学など





医大生

いわき地域医療セミナー





初期研修医

合同研修会 & 交流会



1 医療人を育む - (4) 情報発信とブランディング

本人

いわきで学べる

いわきに行けば、病院の枠を越えて、あれもこれも学べる

医局

いわきで育つ

医師不足の地域へ単に労働力として医師を派遣するのではなく、いわきに行かせると、“育つ”

双方に発信 認知され、ブランディングに

1 医療人を育む - (4) 情報発信とブランディング

情報発信・ブランディング

紙媒体



WEB



SNS 動画



紙媒体による発信



- vol.1 特集：研修医合同研修会
- vol.2 特集：医大3年生いわき合宿
- vol.3 特集：いわきの女性医師座談会（制作中）

各号
2,000
部発行

配布先：市内医療機関、いわき出身の市外医師、全国医大等

1 医療人を育む

13

1 医療人を育む - (4) 発信とブランディング

WEBやSNSによる発信

WEB



令和5年3月開設
投稿記事数50本

1.3万view
(12/26時点)

SNS
フォロワー
数



242人



479人



2,301人



66人

＼フォロワーのほど、どうぞよろしくお願ひします。／

1 医療人を育む

14

2. 医療人を増やす

15

2-(1) 現状① 人口10万人あたり医師数



※R2年三師調査に基づく

16

2 -(1) 現状② 人口10万人あたり医師数-中核市比較

中核市平均

いわき

301人

172人 55 /60市

対中核市平均比 57 %

病院勤務医

210人

98人 55 /60市

対中核市平均比 46 %

※R2年三師調査に基づく

2 -(1) 現状③ 医師の平均年齢

全国

福島県

いわき

50歳

52歳

56歳

病院勤務医

45歳

47歳

51歳

※R2年三師調査に基づく

2-(1) 現状④ 優先して確保すべき診療科

1

更なる高齢化を踏まえ、複数の疾病を抱える高齢者に対応するため。

①総合的な内科

②総合診療科

③整形外科

ヒアリングで
寄せられた
意見を集約

2-(1) 現状④ 優先して確保すべき診療科

2

緊急手術を要し、市内で対応する必要があるため。（脳梗塞、心筋梗塞、心不全など）

④脳神経外科

⑤心臓血管外科

⑥救急科

ヒアリングで
寄せられた
意見を集約

2-(1) 現状④ 優先して確保すべき診療科

ヒアリングで
寄せられた
意見を集約

3

本市の出産／育児の環境を整えるため。

⑦産婦人科 ⑧小児科

4

本市での診療が困難になっているため。

⑨呼吸器内科

医療人を増やす

21

2-(2) 今年の動き① 診療所開設補助の実績

R4



左上 脳外科／内科 R4.9～

右上 整形外科 R5.8～

右下 眼科 R5.8～

R5



2 医療人を増やす

22

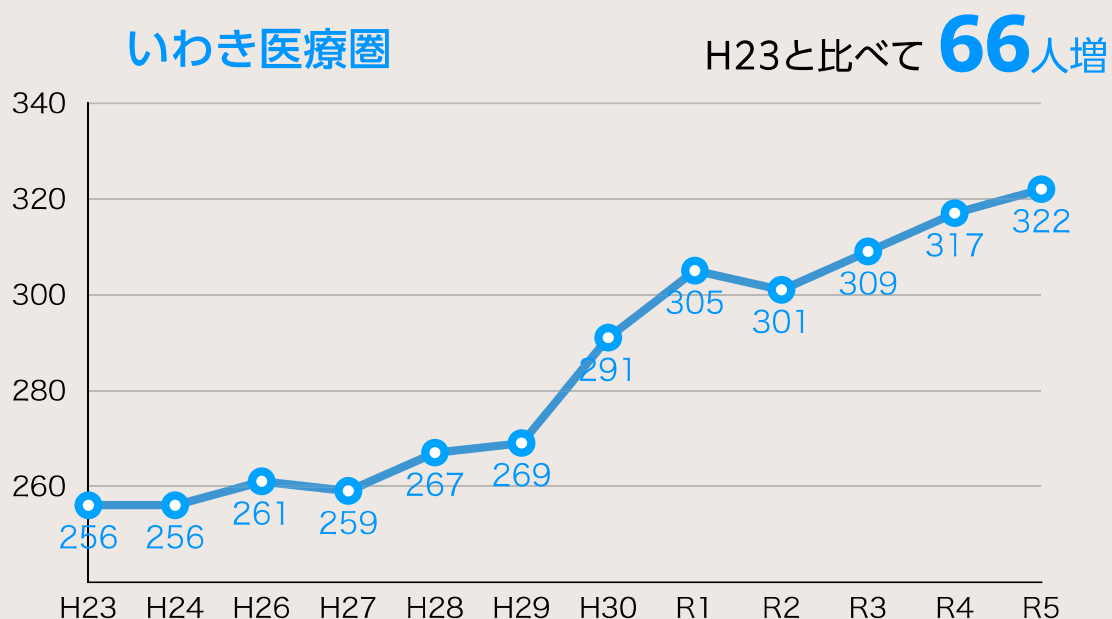
2-(2) 今年の動き② 寄付講座の状況 (令和5年10月時点)

病院	講座名	派遣医師数		大学
		常勤	非常勤	
医療センター	地域産婦人科支援講座	1	2	福島県立医大
	地域支援視機能再建学講座	1	1	
	災害医療支援講座	3	6	
	小児地域総合医療学	0	6	日本医療科学大
福島労災	運動機能再建外科講座	3	0	東京医科大

2 医療人を増やす

23

2-(2) 今年の動き③ 病院の常勤医師数の推移

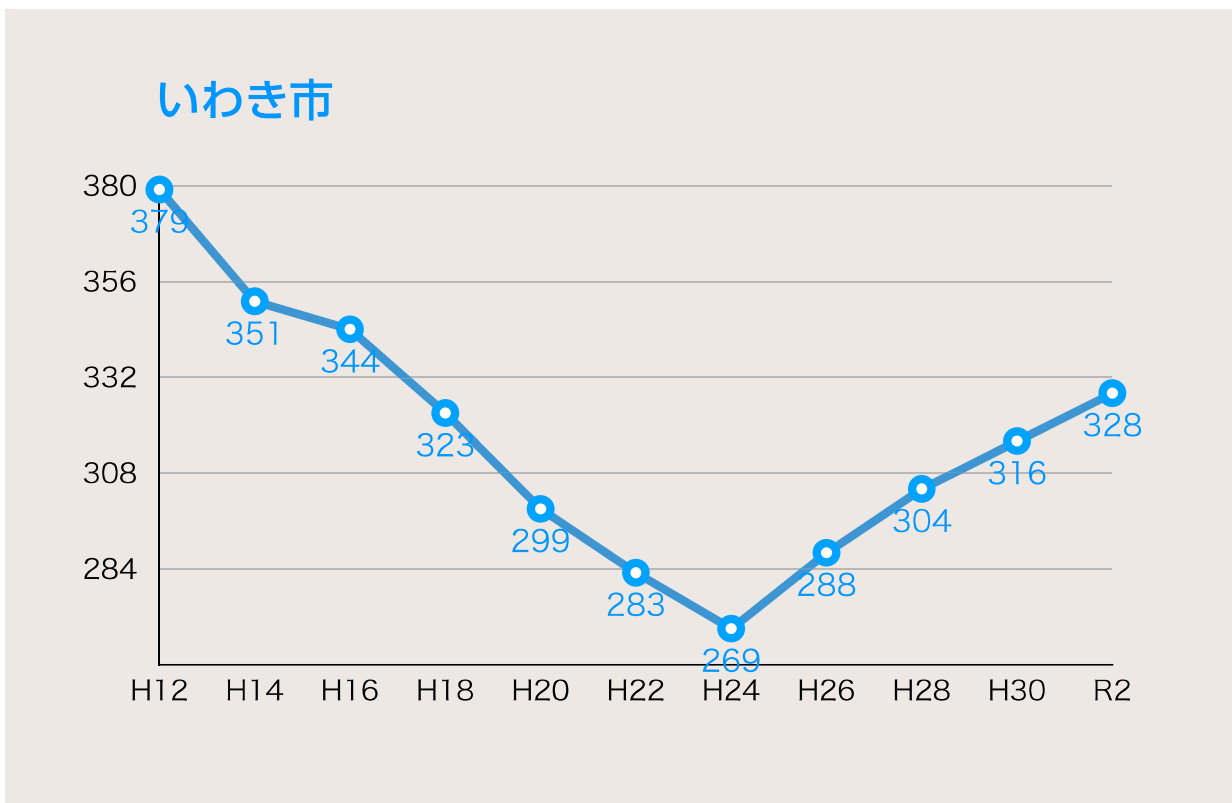


2 医療人を増やす

24

※福島県医療人材対策課 「福島県の医療従事者数について」 より

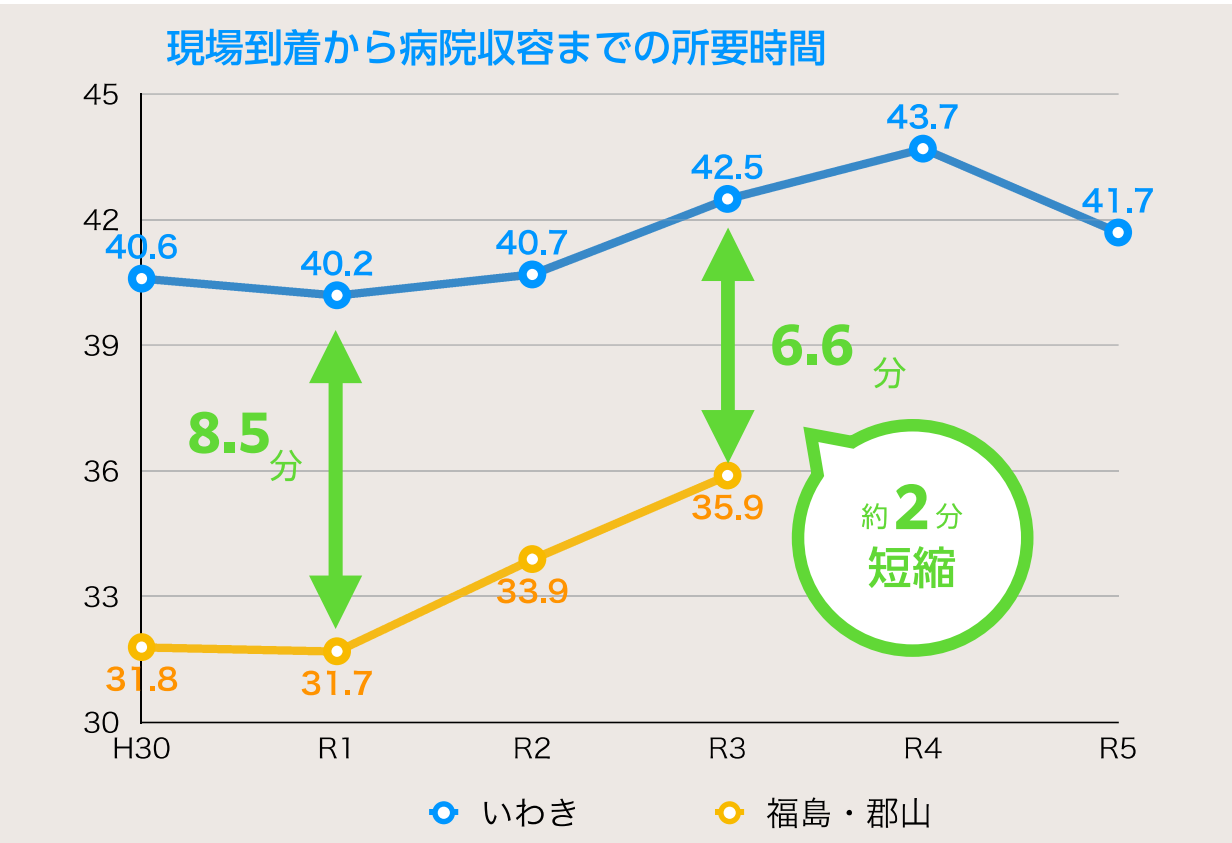
2-(2) 今年の動き③ 病院勤務医の推移



2 医療人を増やす

※ 「三師調査」 より

2-(2) 今年の動き④ 救急の現状と動き



2 医療人を増やす

総務省消防庁 「救急・救助の現況／救急業務における消防本部別実施状況」 より

2-(2) 今年の動き⑤ 看護師等コメディカルへの対応



講師

いわき医療センター
看護専門学校の教諭
と
湯本高校出身の看護師

2
医療人を増やす

令和4年度からいわき湯本高校に「保健・医療コース」新設。
今年度2年生になったコース選択生徒へ、市内での看護師として
進んでもらえるよう講義を実施。

27

2-(3) これからの取り組み① 「チームいわき」で

・別々にではなく「チームいわき」として
レジナビでも合同ブースで出展する。

2
医療人を増やす



28

2-(3) これからの取り組み④ 「チームいわき」で

専門医研修プログラム

2
医療人を増やす

＼P23-25の優先して確保すべき診療科を中心に／

専門研修プログラムの拡充を検討

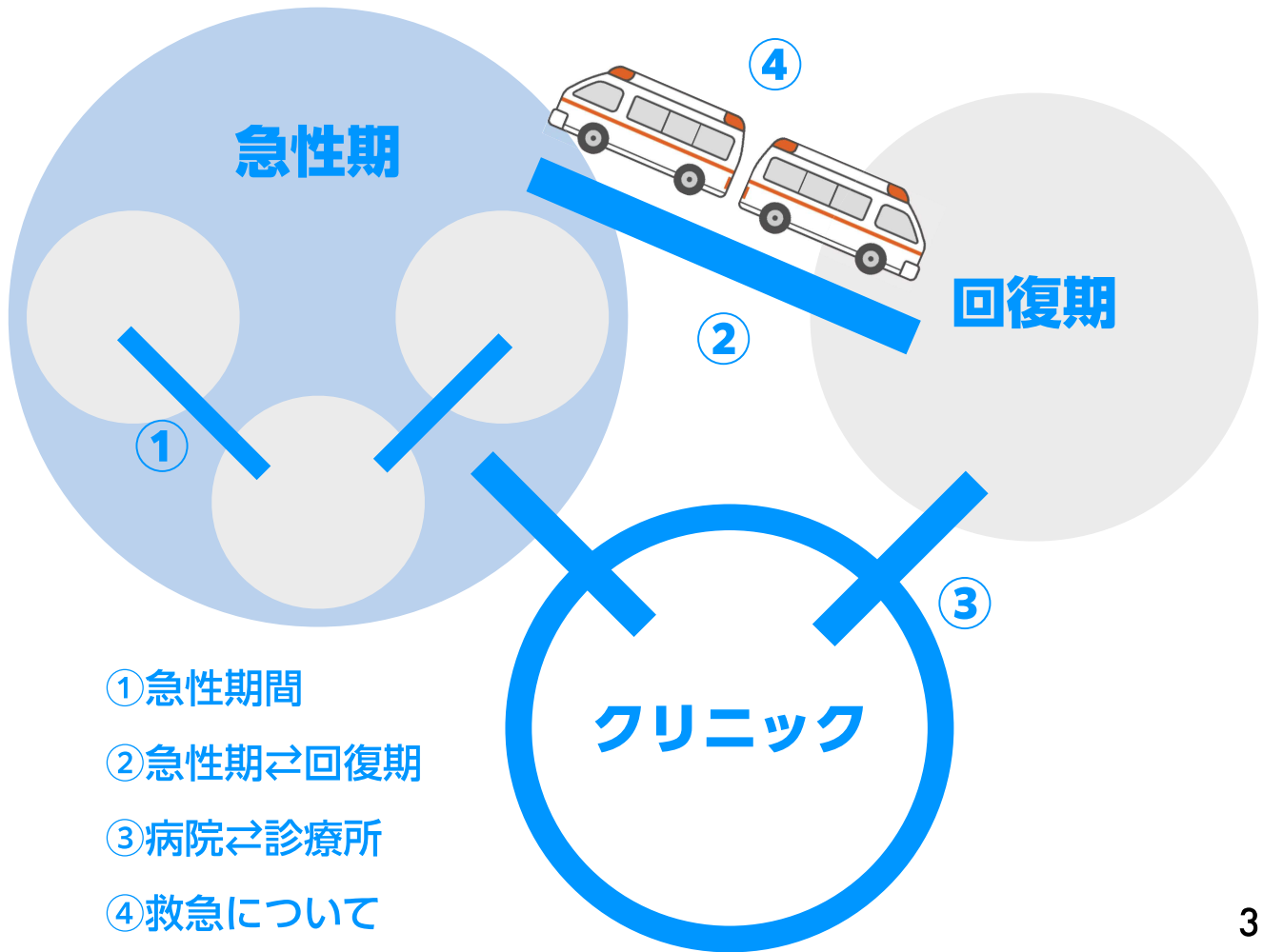
専門研修プログラム審査承認の流れ



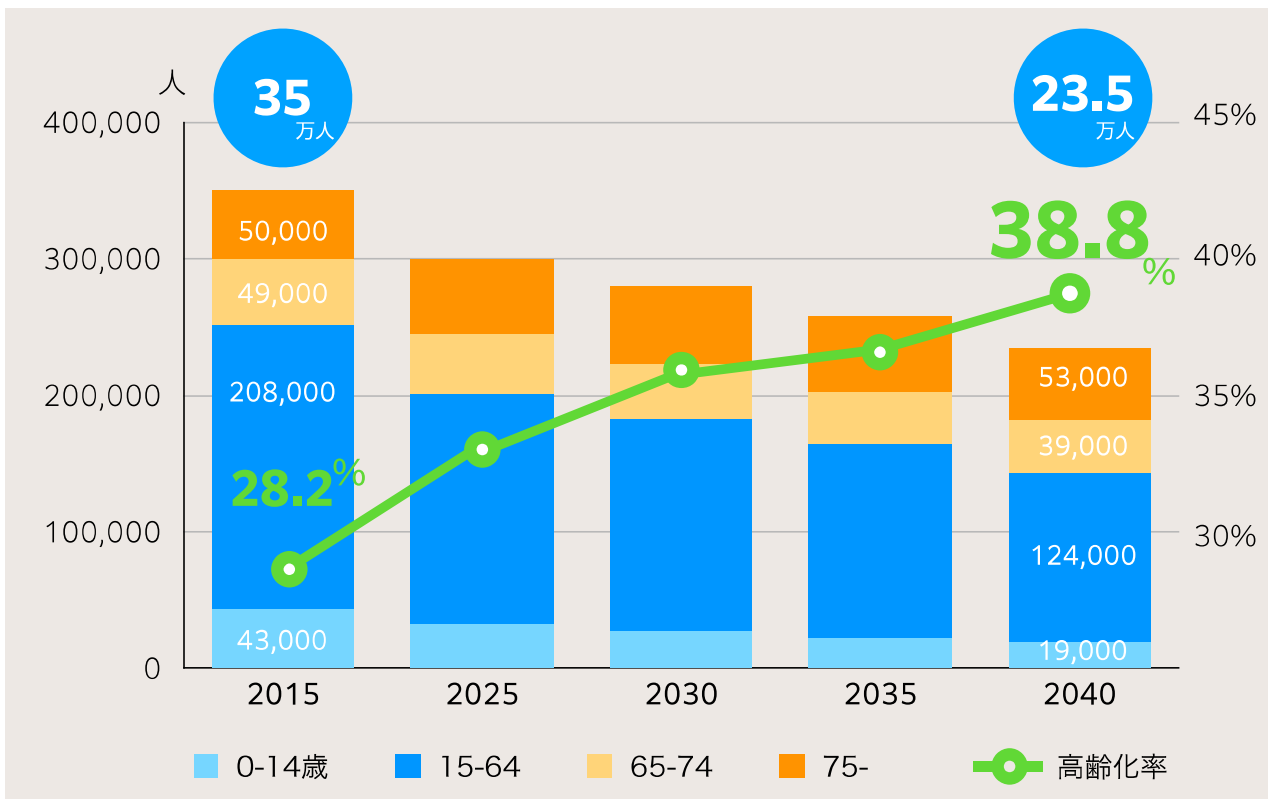
29

3. いわき市のこれからの 機能分化と連携

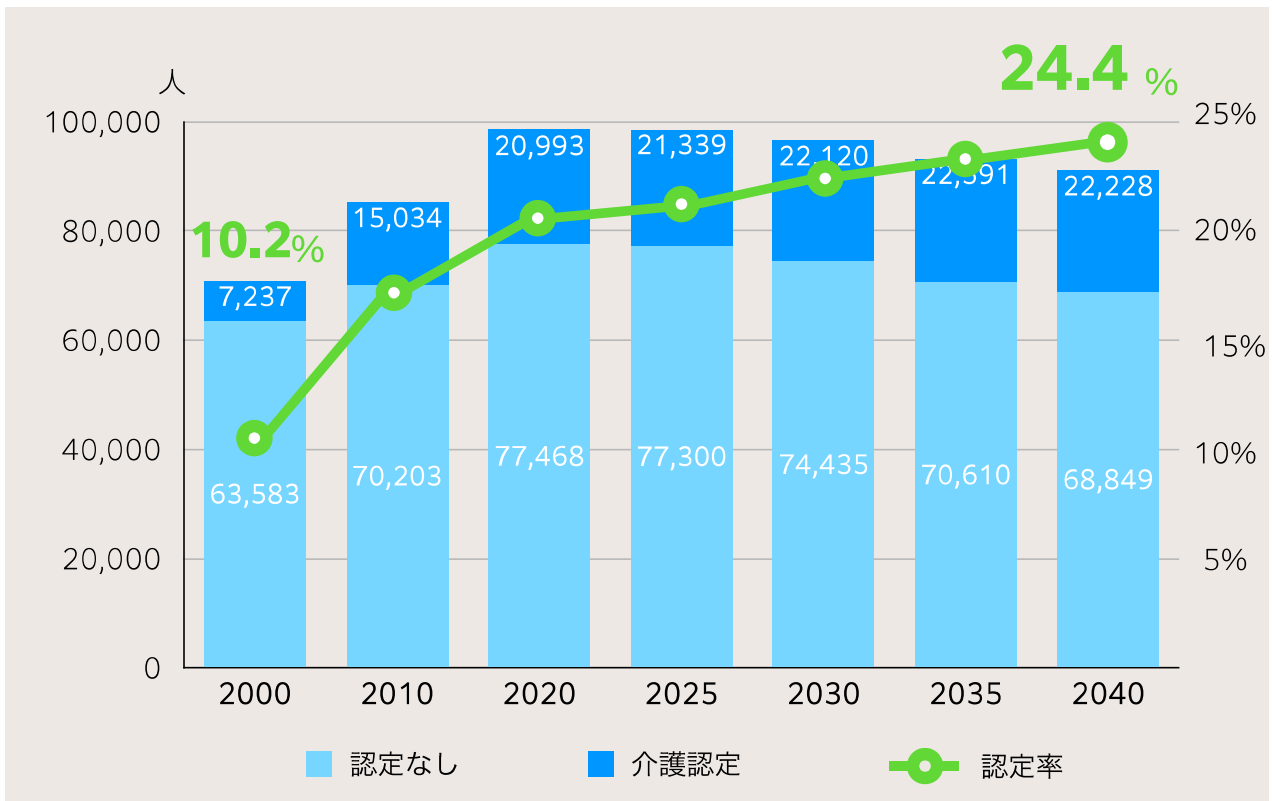
30



3-(1) 取り巻く状況① 人口-少子高齢化

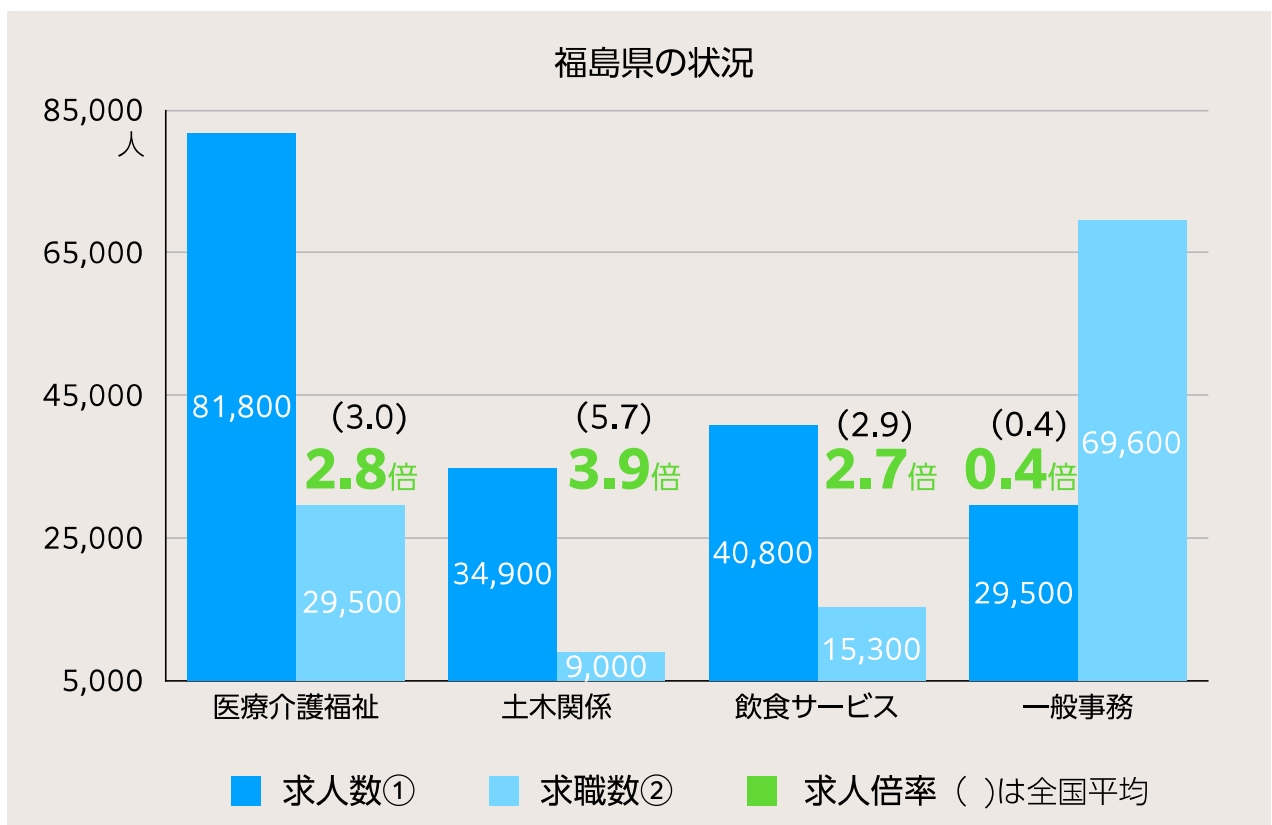


3-(1) 取り巻く状況② 高齢者の内訳と介護認定率



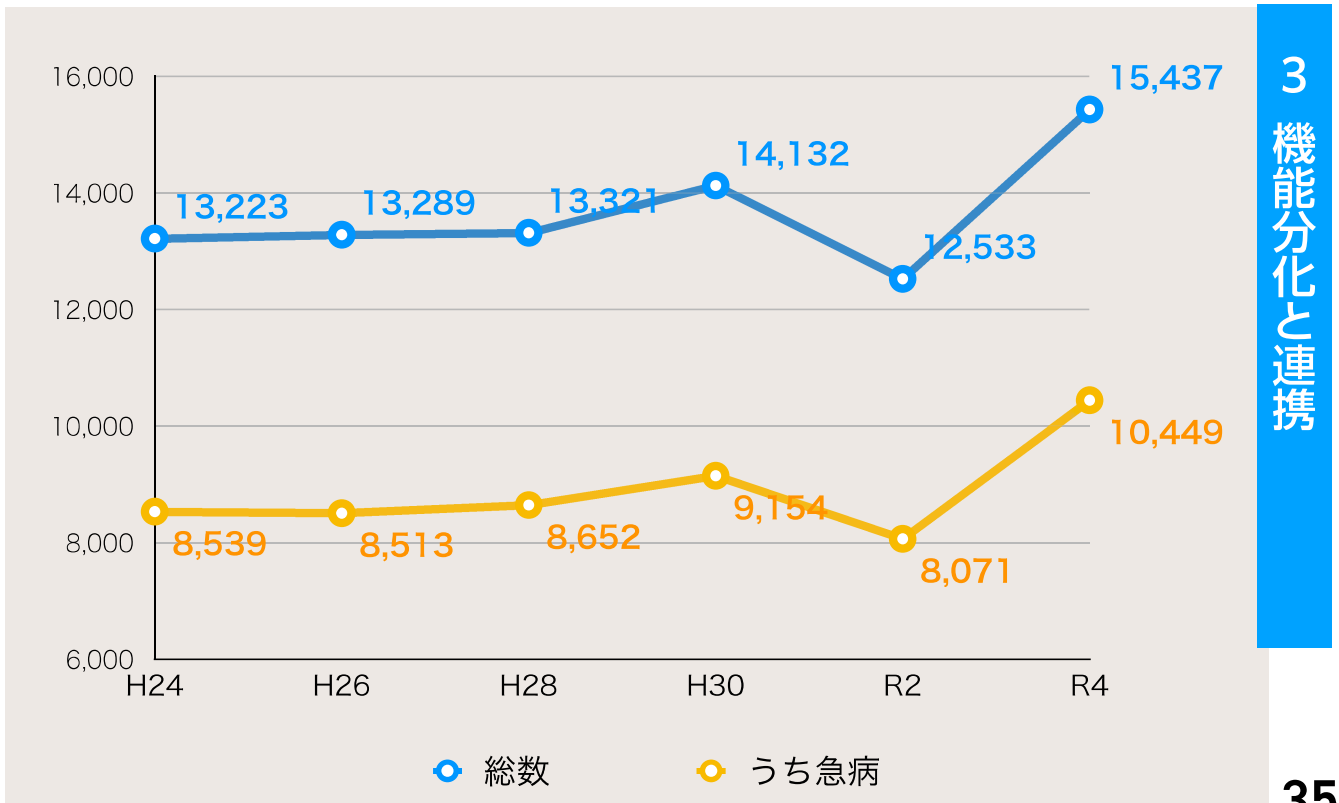
いわき市介護保険課より

3-(1) 取り巻く状況③ 少子高齢化-人手不足



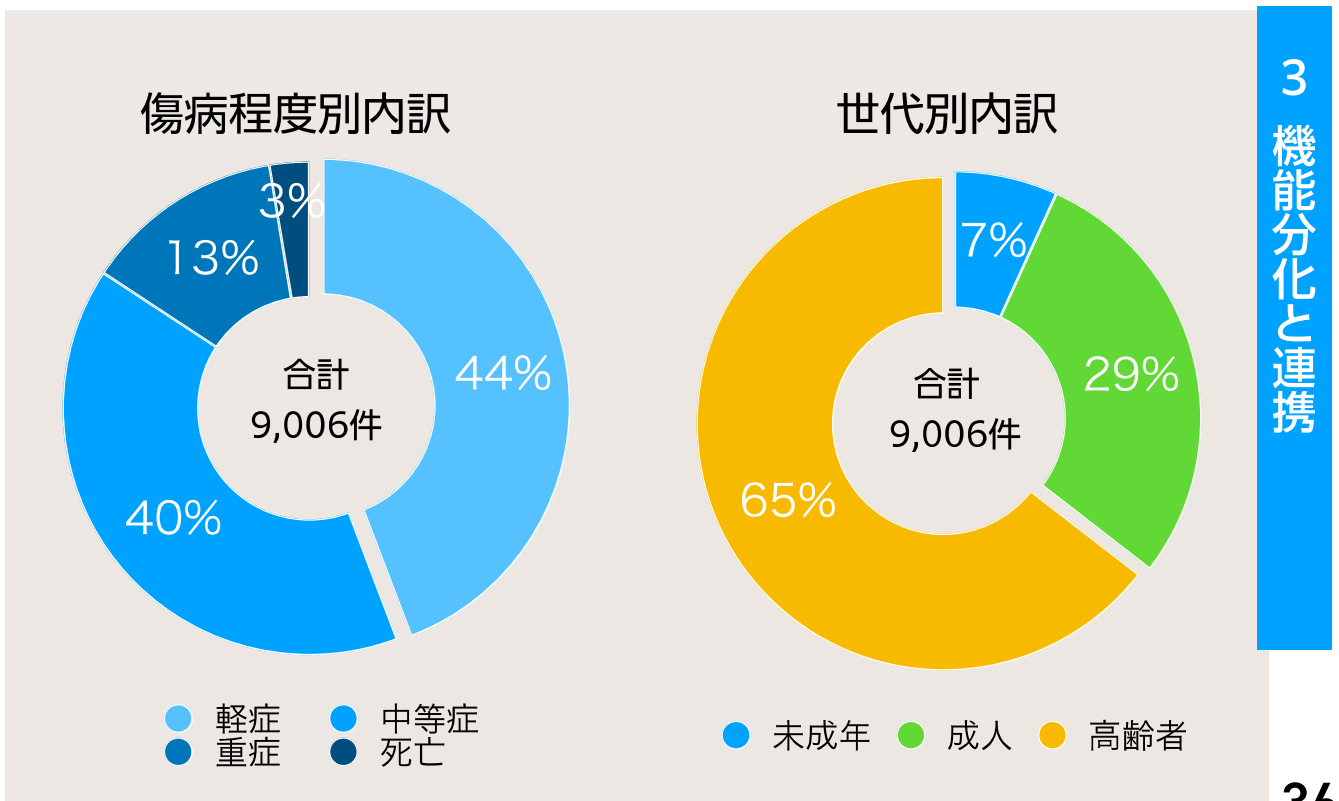
厚生労働省「職業安定業務統計 2022年度」より

3-(1) 取り巻く状況④ 救急 救急出動件数



いわき市消防本部 「いわき市の消防 令和5年度版」 より

3-(1) 取り巻く状況④ 救急 急病搬送人員の内訳

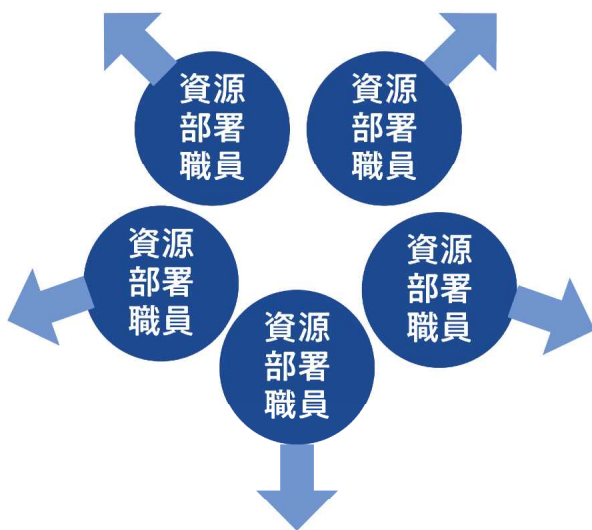


いわき市消防本部 「いわき市の消防 令和5年度版」 より

3-(2) 進め方などについての意見交換

- ① 急性期間での機能分化と連携
- ② 急性期⇔回復期での機能分化と連携
- ③ 病院⇔診療所間の連携
- ④ 救急について

これから大事にしたいこと

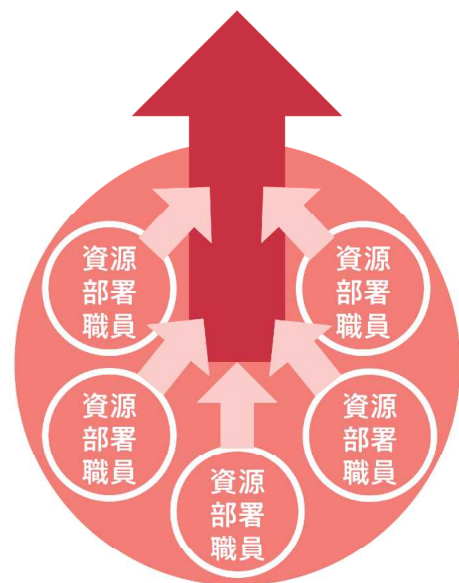


これまで

それぞれが頑張ってる

ヒト/モノ/カネが同じリソースでも

大きな力を



これから

方向性を合わせる
力を合わせる